

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年3月23日	使用開始日	
登録診療科	婦人科	申請医師	山部エリ
レジメン名	PLDC療法(アプレピタントカプセル)		
疾患名	卵巣がん	適応の備考	がん化学療法後に再発した卵巣がん
適応分類	進行・再発		
1コース日数	28 日間	総コース数	コース 催吐性リスク 高度

抗がん剤投与量・投与日 ①ドキシル30mg/m² day1、カルボプラチン5AUC/body day1

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	アロキン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																											
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30分	●																											
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																											
2	主ルート	5%ブドウ糖液100mL	1 本 / body	15分	●																											
	点滴静注		/																													
3	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	ドキシル注	30 mg / m ²	1mg/分	●																											
				/																												
投与量90mg未満では5%糖液250mLで希釈。90mg以上では5%糖液500mLで希釈																																
4	主ルート	5%ブドウ糖液100mL	1 本 / body	15分	●																											
	点滴静注		/																													
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body	90分	●																											
	点滴静注	カルボプラチン注	5 AUC / body		●																											
				/																												
フラッシュ用																																
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●																											
	点滴静注		/																													
7		アプレピタントカプセル	125 mg / body		●																											
	経口投与		/																													
抗がん剤の投与1時間～1時間30分前に服用																																
8		アプレピタントカプセル	80 mg / body			●	●																									
	経口投与		/																													
分1午前中に服用																																
9		デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●																								
	経口投与		/																													
分2朝食後																																

【投与上の注意】
 ・day2～4のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。
 アプレピタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
 アプレピタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。
 アプレピタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。
 ドキシル:最大投与量は500mg/m²。